

老年内科

【研修目標】

科ごとの到達目標 GIO:

高齢者を全人的に診療できる医師となるために、高齢者の身体・心理的特徴を理解し、患者の社会的背景を考慮し、介護・福祉等の他職種と協働する姿勢を示し、高齢者に頻度の高い慢性疾患の診療能力を身につける。

行動目標 SBOs:

- 1) 高齢者の生理的特徴を述べる。(想起)
- 2) 高齢者総合機能評価 (CGA) を施行する。(技能)
- 3) CGA から患者と患者を取り巻く問題点を抽出できる (解釈)
- 4) 身体的、心理的に障害を持った高齢者の心情に共感する態度を示す。(態度)
- 5) 高齢者に多い薬剤の副作用を述べる。(想起)
- 6) 福祉、介護、行政と連携した医療計画を実行できる。(問題解決)
- 7) 認知症の診断ができる。(解釈)
- 8) 介護保険医師意見書を作成する。(技能)
- 9) 患者・家族の退院後の生活支援について配慮する。(態度)
- 10) 医師、看護師、薬剤師、技師、栄養士、MSW：医療ソーシャルワーカー等と協力して診療にあたる姿勢を身につける。(態度)
- 11) 在宅生活の為に他院へ並存する疾患と社会的背景を網羅した適切な診療情報提供書を作成できる。(技能)
- 12) せん妄、認知症周辺症状への薬物的、非薬物的介入ができる (問題解決)

【研修方略】

研修期間：内科の必修期間において総合内科・血液内科・膠原病内科と合同で4週間、2年次選択

方略	SBOs	方法	人数	場所	時間	媒体	指導者・協力者
1	1・5・7	小講義	1人	カンファ室	20分×3	PC：パソコン	指導医
2	2・3・4・6・7・8・9・11	実務研修	1人	外来	適時	なし	指導医・患者 患者家族
3	4・6・9・10	実務研修	1人	往診先	適時	実物	指導医・看護師
4	8	実務研修	1人	病棟	適時	PC・プリント	指導医・
5	9	実務研修	1人	特養・通所リ	適時	PC	指導医・看護師・

				ハ			介護師・PT・OT
6	3・4・9・10	カンファ レンス	1人	医療相談室	適時	PC	MSW・ケアマネ
8	10	実務研修	1人	病棟	適時	PC・プリント	上級医・指導医
9	11	実務研修	1人	病棟	適時	PC・プリント	上級医・指導医・ MSW
10	12	実務研修	1人	病棟	1時間	なし	指導医・チームメ ンバー

週間スケジュール：

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	老健往診	通所リハ	訪問診療	医療相談室
午後	地域包括 支援センター	認知症外来	認知症外来	老年科外来 DST ラウンド	医療相談室
夕刻	17:30～ ジャーナルクラブ CPC/内科会	17:15～ 通所リハ カンファレンス			17:30～ 医局会 (第4週のみ)

【研修評価】

研修中にフィードバックを繰り返し、形成的評価を行う。

SBOs	領域	目的	方法	測定者	時期
1	想起	形成的	口答試験	指導医	方略1終了後
2	技能	形成的	観察記録	指導医	適宜
3	解釈	形成的	実地試験	指導医	適宜
4	態度	形成的	観察記録	指導医・ケアマネ・自己	適宜
5	想起	形成的	口答試験	指導医	方略1終了後
6	問題解決	形成的	実地試験	指導医・MSW・ケアマネ	適宜
7	解釈	形成的	口答試験	指導医	適宜
8	技能	形成的	実地試験	指導医	適宜
9	態度	形成的	観察記録	指導医・看護師	適宜
9・10	態度	形成的	レポート	自己	終了時
11	技能	形成的	実地試験	指導医・紹介先医師	適宜
12		形成的	口頭試験	チームメンバー多職種	方略10中

